



- 日時 平成30年10月19日(金) 13:30~16:00
- 場所 パティオ池鯉鮒
- 研究主題

○地域・保護者・学校が連携する中学校の主体者意識(社会参画意識)を育む教育の試み  
～子どもたちを中心においた地域・保護者・学校の連携～

『三重県紀北町立潮南中学校PTA』

○地域の将来を担う健やかで心豊かな子どもたちの育成

～家庭・地域・学校の連携と協力のもとに～ 『愛知県東海市立横須賀小学校PTA』

- 助言者 後藤 浩子 (知多教育事務所・教育主事)
- コーディネーター 中山 弘之 (愛知教育大学 准教授)
- パネリスト 平岡 将暢 (愛知県小中学校PTA連絡協議会 元会長)
- 原田 悦子 (愛知県知立市立八ツ田小学校 校長)
- 加藤 益洋 (三重県紀北町立潮南中学校PTA会長)
- 杉江 敏幸 (愛知県東海市立横須賀小学校PTA前会長)

潮南中PTAは、地域・保護者・学校が連携する中学生の主体者意識(社会参画意識)を育む教育の試みとして、保護者と学校は、子ども達が自己決定できる力やまわりの人と協働できる力を育てていくべきだと考えました。また、三者連携の取組例として、防災教育への取り組みや、自転車通学自由化、学校三師と保護者と学校が連携して進めていく学びの環境整備などさまざまな取組みをしていた。未来予想図を描きにくい時代にある中、潮南中PTAは主体者意識を育み他者と連携して解決していく力を育むために、学校と地域の三者で子ども達を支援していき続ける。また、大人が知恵を出し合い、改善していく姿を見せていくことが次世代を担う彼らへの贈り物になればと願っていた。

横須賀小学校PTAは、地域の将来を担う健やかで心豊かな子どもたちの成長をテーマに、地域の子どもたちは、地域で育てるという思いのもと、地域社会も含めた「PTCA」として考えることも重要であると考え活動している。学校行事とPTA地域行事の共催、地域行事への参加や協力をするることにより、子ども達は先生方や、保護者、地域の方々とふれあい見守られることによって安心して活動に取り組む姿が見られるようになった。

またこれからの課題として、限られた方々の参加にとどまらず、さらに連携の輪を広げてより多くの地域の方々にPTA活動に参加して頂くようにしていく手立てを模索していくことが大切だと思っていた。

最後にパネルディスカッションでは、研究発表を行った2校の取り組みを振り返りつつ地域連携が、これからの子ども達の成長には大切であるという事を活発に意見しながら議論していた。